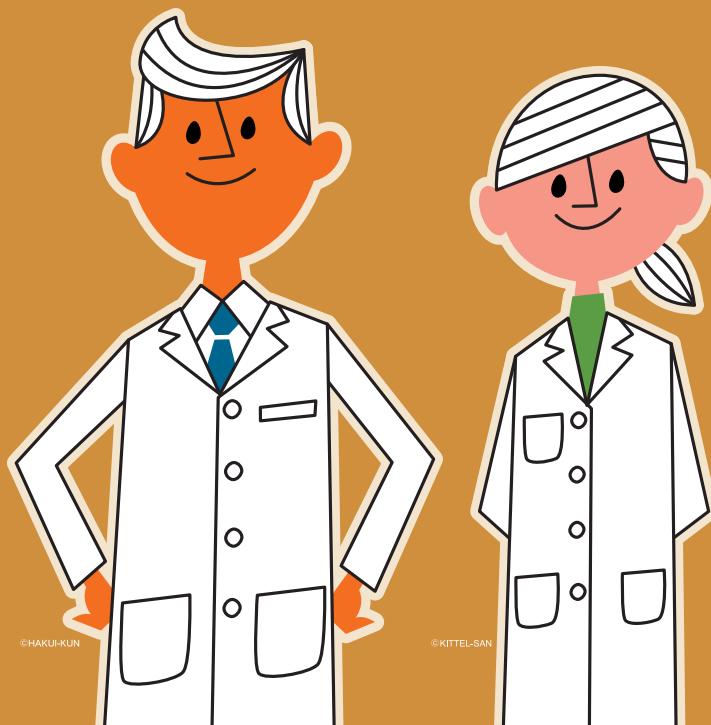


WDB REPORT

WDB[®]

株主・投資家の皆様へ

第26期 中間報告書



©HAKU-KUN

©KITTEL-SAN

研究職人材サービス
WDB株式会社

お客様に対するビジョン

「仕事の成果」の保証 「新しい価値」の創造

人材サービスは「人」を扱うが故に、成功や失敗の原因追究が曖昧にされることがあります。労働者を保護する法律に守られているが故に、本来サービス業として徹底しなければならぬことをおさなりにしてしまうことがあります。製造業の製造責任に対するプロセス管理の厳しさと、サービス業の求められることに応えていく姿勢。このふたつの考え方で「労働力の提供」ではなく「仕事の成果」の保証を目指していきます。

そして、人材サービスから一歩進み、私たちの力で「新しい価値」を創造していきたいとも考えています。私たちが作り出す成果物や製品が「新しい価値」を生み出せるように努力していきます。

私たちの会社を通じて働く人々へのビジョン

「働く喜び」の提供

「働く」ということは人間にとって大切なことだと考えています。その大切なことに関わる会社として誠実に取り組んでいきます。

仕事の内容、報酬、ライフスタイルにあった働き方、自己の成長、社会的評価、職場環境、人間関係等たくさんの要素から、働く人一人ひとりに対してそれぞれの「働く喜び」を提供できる会社を目指していきます。

そして、私たちの会社を通じて働く多くの人たちのキャリアドメインの重なりから、新しい事業を興していく会社を目指していきます。

私たち自身に対するビジョン

誇りをもって働ける会社

どれだけ目立たない仕事であっても、「私はこの仕事を通じて社会に貢献しているのだ」と胸を張って言える会社でありたいと考えています。企業の果たすべき責任を社員一人ひとりが認識し、その一部を自分が担っているのだという強い意識のもとで自信と誇りをもって業務を遂行できる会社。そしてその自信と誇りを支援するオペレーションシステムを持ち、また自らが作り上げたオペレーションシステムでさえ、環境の変化に伴い破壊し、新たな仕組みを作り上げていくパワーを持った会社を目指しています。

株主に対するビジョン

「価値」の還元

経営者は株主、スタッフ、社員、取引先、地域社会などの全てのステークホルダーに対し、経営責任を負う義務があります。企業には利益を追求し、新たな価値を創出することで、その付加価値を社会に対し還元していく責任があります。その責任から逃避することなく、毅然とした態度で立ち向かい、スタッフ及び社員一人ひとりが利益の最大化を目指す企業経営を行っていきます。

そして、取引先、地域社会から信頼される企業として行動し、会社の所有者である株主に対して配当を通して利益を還元していきます。

CONTENTS

WDBのビジョン	1
マネジメント・メッセージ	2
WDBグループの未来戦略	3
WDBについて①	4
WDBについて②	5
WDBについて③	6

財務ハイライト	7
中間連結財務諸表	9
会社概要	11
拠点所在地	13
株式状況	14

マネジメント・メッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第26期中間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。

おかげさまで、弊社は本年7月に創立25周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と感謝いたしております。

さて、当社グループの属する人材ビジネス業界は、有効求人倍率・完全失業率が示すとおり、企業の採用抑制等の影響から、経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。また、リーマンショックに端を発した派遣切りや、派遣業界自体の不祥事により、派遣就業そのものに問題があるかのようにも言われています。

そのような状況の中、当社は「満足就労宣言」を掲げ、派遣で納得して満足して働いている人たちには、よりよい派遣就業を、そうではなく派遣就業に不満を持ち、本当にここから出ていきたい人たちには、そのような支援を行ってきたいという想いを宣言いたしました。人材サービス事業に25年間携わってきた者として、正々堂々と派遣事業を営んでいきたいと考えております。また、25年を節目として、よりよい人材サービスを行っていくことはもとより、新たな事業にも果敢にチャレンジしていきます。

当社グループは、研究職領域の新たな分野への進出を積極的に行い、主に臨床試験業務や薬事申請業務といった、医薬品・医薬部外品・化粧品等の開発支援業務を行うことを目的としたWDBメディカル株式会社を平成22年4月1日に設立しております。また、平成22年4月16日には、企業の買収・合併等の調査、仲介業務を行うことを目的とし

たWDB事業承継パートナーズ株式会社を設立、平成22年10月1日には、二枚貝、魚類、藻類などの養殖及び育種に関する研究・商品開発分野を会社分割により設立した株式会社WDB環境バイオ研究所に承継し、グループ経営の効率化とグループの総合力を生かした新たな事業体制での運営を開始しております。

派遣事業に関しましては、スタッフ自身がキャリアプランに応じた働き方に変化させることができる「ライフスタイルプラン」の提供を引き続き行い、「適性保証研修」を実施し、就業面のサポートを充実させる一方、顧客企業に対しては、定期訪問の継続はもとより、「就業状況報告書」や「取引状況報告書」を通じて、お客様に対して「取り組んできたこと」と「お約束すること」の報告を行っております。

また、顧客企業の指揮命令者の方々をメインに、派遣業界の動向や業界の情報提供、実際に人材派遣を利用いただく際の疑問点の解消等を目的とした「コンプライアンスセミナー」を開催しております。

株主の皆様におかれましては、当社の経営にご理解をいただき、今後とも、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



WDBグループ代表
中野 敏光

WDBグループの未来戦略

WDBグループは、売上1,000億円企業を目指しています。

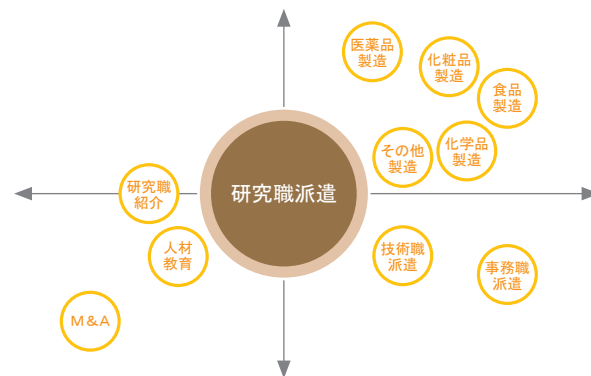
WDB株式会社を中核企業としてWDBグループ全体での成長を目指してまいります。人材派遣を諦めるのでもなく、脱派遣でもありません。人材派遣を包括した新たなビジネスモデルで、この売上高を目指していきます。

2008年の秋以降、世界不況の影響もあり、労働者派遣の存在価値や意義すら疑われていますが、人材派遣は様々な課題を持ちながらも、一定の価値はあり、決してなくなることはないと考えています。ただし、人材派遣で価値を出し続けるには、これまで以上の取り組みが必要になると考えています。専門特化することはもちろんのこと、本当の意味でお客様に「仕事の成果の保証」を約束し、スタッフのキャリアに関しての合意や納得を得るための仕組みが必要になります。

私たちが人材派遣の課題を解決するために出した答えが、「WDBグループとして事業体を持ちながら成長していく」ということでした。このWDBグループ戦略は、私たちのグループに集まる優秀な研究職の人たちの力をWDBグループの内部に取り込むことによって実現していきます。もちろん、人材派遣のビジネスモデルそのものを否定するわけではありません。派遣就業を求めて働く人たちや派遣サービスを求められるお客様に対しては、これまで以上の派遣の仕組みを構築していきます。

しかし、人材派遣という枠に入りきれない人たちが出てきているのも明らかなことであり、その人たちが派遣就業から卒業していく時に、私たちWDBグループの中にとどまる場があれば、その人たちの力で、新たな事業を展開していくことも可能だと考えているのです。

実際に、WDB機能化学株式会社、株式会社WDB環境バイオ研究所のメンバーとして、特定派遣のWDBエウレカ株式会社からの出身者が活躍しています。このように、「価値ある人材」という資産をWDBグループの外に流出させるのではなく、WDBグループ内での付加価値を上げていくために活用するという試みは、人材派遣を行っているからこそ考えられるビジネスモデルです。このビジネスモデルのもと、1,000億円企業を目指して挑戦していきます。



WDBについて①

■ WDBの特徴

WDBグループは、理学系研究職の一般労働者派遣を行うWDB株式会社を中心に成長してきましたが、今後はWDBグループで働く派遣研究職の人たちの力を結集し、事業を起こしていくことで、新たなグループを形成していくことを考えています。

すでに新たな事業領域として、受託合成を行うWDB機能化学株式会社はその領域を拡げ、平成22年10月には株式会社WDB環境バイオ研究所を新設分割で法人化し、海洋生物と環境に関する研究を行う事業体としてスタートしております。

人材サービス面では、より高度な研究者の派遣を行うWDBエウレカ株式会社、CROの分野で受託を行うWDBメディカル株式会社を平成22年4月1日に設立し、新たな領域への取り組みを行っております。



株式会社WDB環境バイオ研究所



WDB機能化学株式会社

■ 研究職の職業人生をフルサポート

理学系研究職として働く人たちが、派遣という就業形態で働くこともできる、人材紹介機能を利用して正社員で就職することもできる、またWDBグループの中で研究員として働くこともできるというビジネスモデルを構築していきます。このモデルは、結果として優秀な研究者を多様な形で有することにつながり、お客様に対しても、多様な課題解決の方法を提供することができるようになると考えています。

また、当社グループは「満足就労宣言」を行い、「派遣で働く理由の多様性を互いに認めること」「働き方の多様な選択肢を用意すること」「キャリアの断絶にならない就業を提示すること」「社会的訓練を受けられるよう教育機会を提供すること」「キャリアの見通しを付けられるよう支援すること」を掲げております。人材派遣が抱えるさまざまな問題に真摯に向き合い、「人材派遣会社」から「人材という経営資源を活用しながら、新しい価値を生み出す企業」へと発展するよう挑戦を続けてまいります。



©HAKU-KUN

©KITTEL-SAN

WDBについて②

■ WDBの考える満足就労

派遣会社の役割とは何なのか。

お客様のご要望とスタッフの要望を聞き、マッチングさせるという選任機能を果たすことはもちろんのこと、“お客様には労働力の提供ではなく、仕事の成果を保証したい。スタッフには仕事ではなく、働く喜びを提供したい。”という理念を実行していく中で、今潜んでいる問題—帰属意識の問題、キャリア断続の問題、社会的訓練の問題、所得格差の問題—に対して向き合い、解決していくことが求められる中で、私たちは自分たちのあるべき姿を導き出しました。

派遣で働く理由の多様性をお互いに認めること。

働き方の多様な選択肢を用意すること。

キャリアの断絶にならない就業を提示すること。

社会的訓練を受けられるよう教育機会を充実させること。

キャリアの見通しをつけられるよう支援すること。

派遣で働くのなら、派遣就業に納得して満足して働いてほしい。望まずに派遣で働いているのなら、正社員になるために努力をし、正社員となってここから飛び立ってほしい。WDBという派遣会社を通じて働いている間に、キャリアの見通しをつけてほしい。

自分の考え方と働き方を真剣に考え、納得して満足して派遣就業してもらいたい。継続的に派遣就業をするのであっても、一時的に派遣就業をするのであっても、納得して満足して働いてもらえる会社をつくっていきたいと思います。



■スタッフに対する取り組み

適性保証研修制度

就業後のスタッフの勤怠態度や職場でのコミュニケーション能力やスキルに関するご指摘を事前に回避するため、実際の就業までに就業前研修を行い、ビジネスマナーの確認や人物特性の見極めを行います。

適性保証研修は2日間の研修です。「ヒューマンスキル」「テクニカルスキル」という2つの指標を使い、スタッフの「適性」を正しく評価し、考慮することで、WDBの目指す「仕事の成果」の保証を行うことにより、私たちが「お客様の眼」により近づきたいと考えています。



就業中スタッフの再教育（振り返り研修）の実施

「就業中のスタッフに対する教育をして欲しい」という顧客企業のニーズに応え、就業開始後1年経過したスタッフに対して振り返り研修を実施しています。

長期就業により業務に慣れる反面、職場でのマナーや安全面への意識が就業開始当初と比べて低下することを防ぐことを目的としています。



企業R&Dデータベース公開

水産・農林業、鉱業、食料品、繊維製品、パルプ・紙、化学、医薬品、石油・石炭製品、ゴム製品、精密機器、ガラス・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、電気・ガス業の15業界の企業の研究開発費や研究開発の内容、関連特許・文献等についてのデータベースを掲載しております。「研究職の職業人生をフルサポートする会社」として研究職の方やこれから研究職を目指す方に対して情報の提供を行っております。



HPアドレス <http://www.kenq.net/>

■クライアントに対する取り組み

就業状況報告書の提出

四半期毎に、スタッフの就業状況についてお客様にレポートとして報告しています。

取引状況報告書の提出

取引状況報告書として、「過去1年取り組んできたこと」と「次の1年お客様にお約束すること」を報告しています。

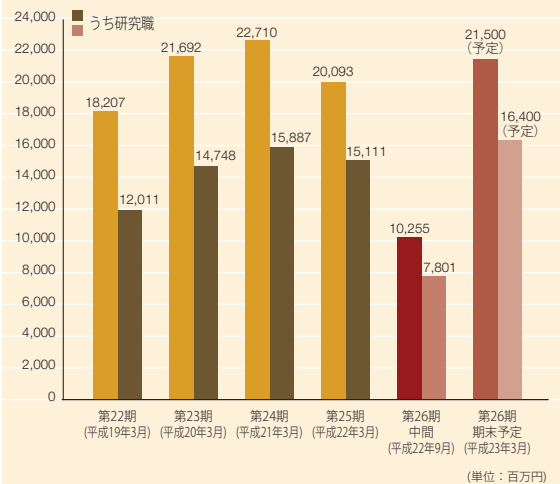
コンプライアンスセミナーの開催

現場管理者・指揮命令者の皆様向けのセミナーです。総務のご担当者だけでなく、近年の派遣法の動向や解釈を認知いただくことで、よりコンプライアンスを遵守した運営をしていただける様開催いたしました。

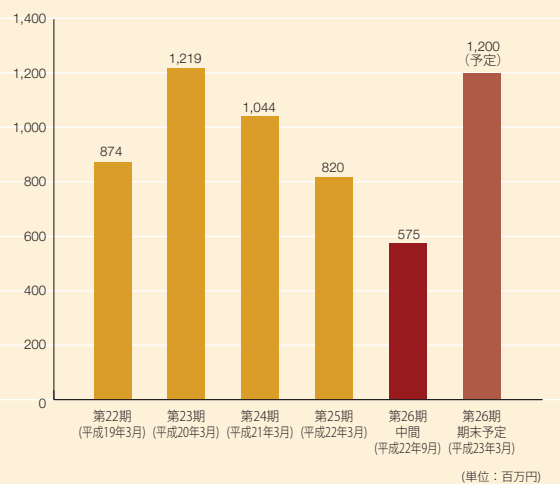


財務ハイライト

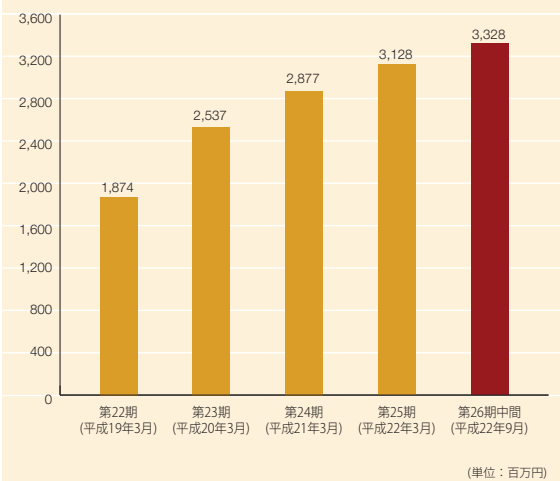
■売上高



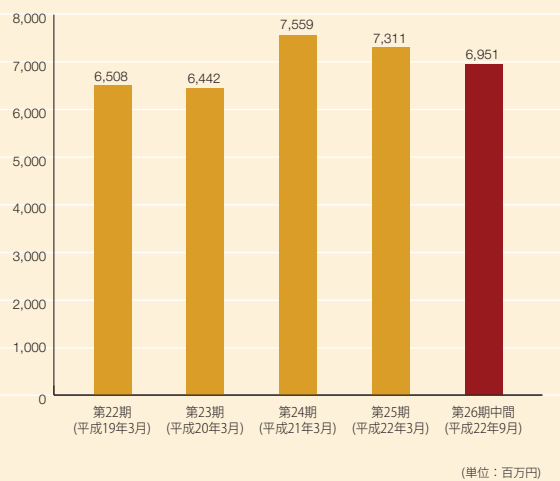
■経常利益



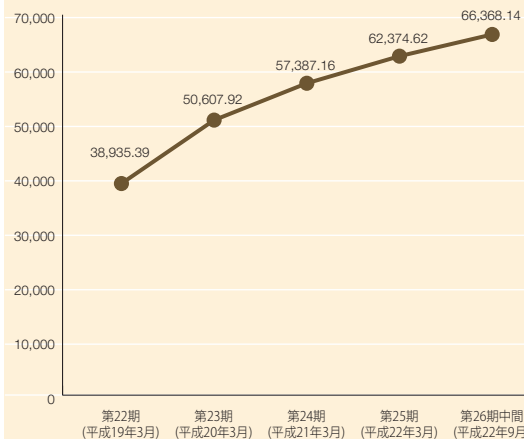
■純資産額



■総資産額

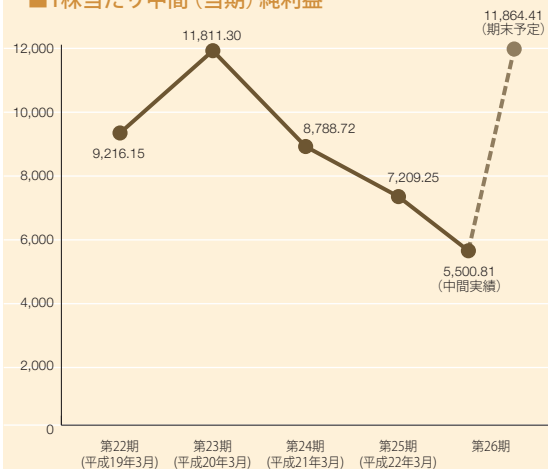


■1株当たり純資産額



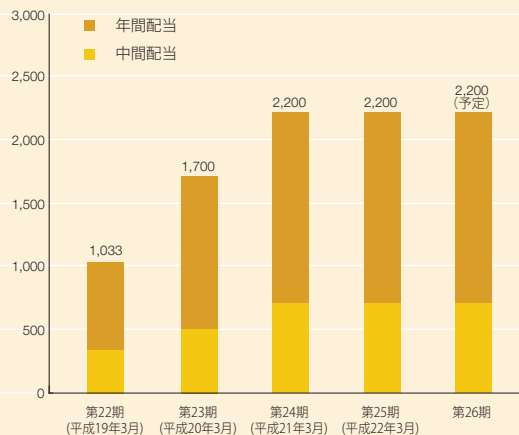
(単位：円)

■1株当たり中間(当期)純利益



(単位：円)

■1株当たり配当額



(単位：円)



©CLARA-SAN

©HAKUI-KUN

中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	平成22年3月期	平成22年9月期
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,230,356	1,179,936
受取手形及び売掛金	2,311,189	2,198,672
その他	447,975	319,269
貸倒引当金	△2,566	△3,697
流動資産合計	3,986,954	3,694,180
固定資産		
有形固定資産	2,559,175	2,563,719
無形固定資産	139,258	118,818
投資その他の資産	625,666	574,975
固定資産合計	3,324,099	3,257,513
資産合計	7,311,054	6,951,694
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,208,600	1,104,998
短期借入金	1,066,868	536,202
1年以内償還予定社債	65,000	60,000
未払法人税等	217,245	258,739
賞与引当金	238,810	272,684
その他	557,869	592,995
流動負債合計	3,354,393	2,825,620
固定負債合計	828,573	797,712
負債合計	4,182,967	3,623,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,807	800,000
資本剰余金	372,718	52,525
利益剰余金	2,276,223	2,476,864
株主資本合計	3,128,749	3,329,389
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△662	△1,027
評価・換算差額等合計	△662	△1,027
純資産合計	3,128,087	3,328,362
負債純資産合計	7,311,054	6,951,694

■中間連結損益計算書

(単位：千円)

	平成22年9月期
売上高	10,255,798
売上原価	7,958,517
売上総利益	2,297,281
販売費及び一般管理費	1,719,359
営業利益	577,922
営業外収益	8,834
営業外費用	11,157
経常利益	575,599
特別利益	44,640
特別損失	51,306
税金等調整前中間純利益	568,933
法人税、住民税及び事業税	251,775
法人税等調整額	41,292
法人税等合計	293,068
少数株主損益調整前中間純利益	275,865
中間純利益	275,865

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	平成22年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	669,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△732,607
現金及び現金同等物の減少額	△50,518
現金及び現金同等物の期首残高	1,108,806
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,058,288



■中間連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成22年3月31日残高	479,807	372,718	2,276,223	3,128,749	△662	△662	3,128,087
中間連結会計期間中の変動額							
資本準備金から資本金への振替	320,193	△320,193					
剰余金の配当			△75,225	△75,225			△75,225
中間純利益			275,865	275,865			275,865
株主資本以外の項目の中間変動額(純額)					△365	△365	△365
中間連結会計期間中の変動額合計	320,193	△320,193	200,640	200,640	△365	△365	200,274
平成22年9月30日残高	800,000	52,525	2,476,864	3,329,389	△1,027	△1,027	3,328,362

WDB株式会社 会社概要 (平成22年10月現在)

<p>社名 WDB株式会社</p> <p>設立 1985年(昭和60年)7月6日</p> <p>資本金 8億円</p> <p>上場市場 東京証券取引所市場第二部 (証券コード 2475)</p> <p>代表者 代表取締役社長 中野 敏光</p> <p>役員 専務取締役 大塚 美樹 取締役 植本 智也 社外取締役 黒田 清行 監査役 鶴飼 茂一 社外監査役 濱田 聡 社外監査役 木村 裕史 執行役員 栖原 佳大 執行役員 谷口 晴彦 執行役員 水島 千賀子 執行役員 大河 健二 執行役員 山根 直樹</p> <p>本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5221-8111(代) FAX 03-3211-7711</p> <p>本店 〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町100 姫路パラスイオ2ビル TEL 079-287-0111(代) FAX 079-287-0112</p> <p>研究所 ●北海道バイオ研究所 〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西7-7-2 TEL 011-241-4511(代) FAX 011-241-4566</p> <p>●中央研究所 〒270-2231 千葉県松戸市稔台6-3-3 TEL 047-365-3911(代) FAX 047-365-3913</p> <p>●食品研究所 〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町2-11 住友生命川崎大通りビル1F TEL 044-210-4911(代) FAX 044-246-2650</p> <p>●神戸基盤研究所 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-3-3 TEL 078-304-5711(代) FAX 078-304-4322</p>	<p>拠点 48拠点 札幌、仙台、日立、つくば、宇都宮、新潟、高崎、さいたま、川越、柏、千葉、大手町、メディカル事業部新宿、立川、町田、川崎、横浜、厚木、平塚、沼津、静岡、岐阜、豊橋、名古屋、四日市、富山、福井、草津、京都、茨木、大阪、堺、尼崎、神戸、神戸ポートアイランド、明石、加古川、姫路、岡山、福山、広島、徳山、高松、徳島、松山、北九州、福岡、熊本</p> <p>URL http://www.wdb.co.jp (コーポレートサイト) http://www.wdb.com (サービスサイト) http://www.wdbg.co.jp (グループサイト)</p> <p>社員 500名 (契約社員含む)</p> <p>スタッフ 64,700名 (うち研究職41,400名)</p> <p>取引実績 約3,700社 うち 医薬品業界 約280社 化学業界 約480社 食品業界 約370社 機械業界 約310社 大学・各種研究機関等 約450機関</p> <p>取引銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ銀行 りそな銀行 中国銀行</p> <p>許可 一般労働者派遣事業 般28-050008 有料職業紹介事業 28-ユ-050015</p> <p>事業内容 人材派遣サービス、人材紹介サービス</p>
--	---

関連会社 会社概要 (平成22年10月現在)

<http://www.wdbg.co.jp>

WDB システムズ株式会社

ITサービス

設立 2001年12月
資本金 1,000万円
代表者 代表取締役社長 中野 敏光
本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5222-7577(代) FAX 03-3211-7755
関西ソリューションセンター
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町100 姫路パラスイオ2ビル3F
TEL 079-287-0171(代) FAX 079-287-0172

ミドルキャリア株式会社

中高年研究職・技術職人材のための人材紹介・人材派遣

設立 2004年10月
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 谷岡 たま彦
本社 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-3-3
TEL 078-304-6300(代) FAX 078-304-6133
拠点 東京、神戸
許可 一般労働者派遣事業 般28-300659
有料職業紹介事業 28-ユ-300435

WDB エウレカ株式会社

ラボラトリアルサポート

設立 2004年1月
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 中野 敏光
本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-6212-8811(代) FAX 03-3211-7755
拠点 札幌、仙台、日立、つくば、宇都宮、新潟、高崎、さいたま、川越、柏、千葉、大手町、新宿、立川、町田、川崎、横浜、厚木、平塚、沼津、静岡、岐阜、豊橋、名古屋、四日市、富山、福井、草津、京都、茨木、大阪、堺、尼崎、神戸、神戸ポートアイランド、明石、加古川、姫路、岡山、福山、広島、徳山、高松、徳島、松山、北九州、福岡、熊本
届出受理 特定労働者派遣事業 特13-300414
許可 有料職業紹介事業 13-ユ-303631

WDB 機能化学株式会社

有機化合物の受託研究開発

設立 1999年8月
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 中野 敏光
本社 〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽1870-16
TEL 0480-48-0512(代) FAX 0480-48-0517

WDB メディカル株式会社

医薬品・医薬部外品・化粧品等の開発支援 (受託・特定派遣)

設立 2010年4月
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 中野 敏光
本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5220-1161(代) FAX 03-3211-7755
届出受理 特定労働者派遣事業 特13-312793

WDB 事業承継パートナーズ株式会社

企業の合併・買収等による事業承継支援

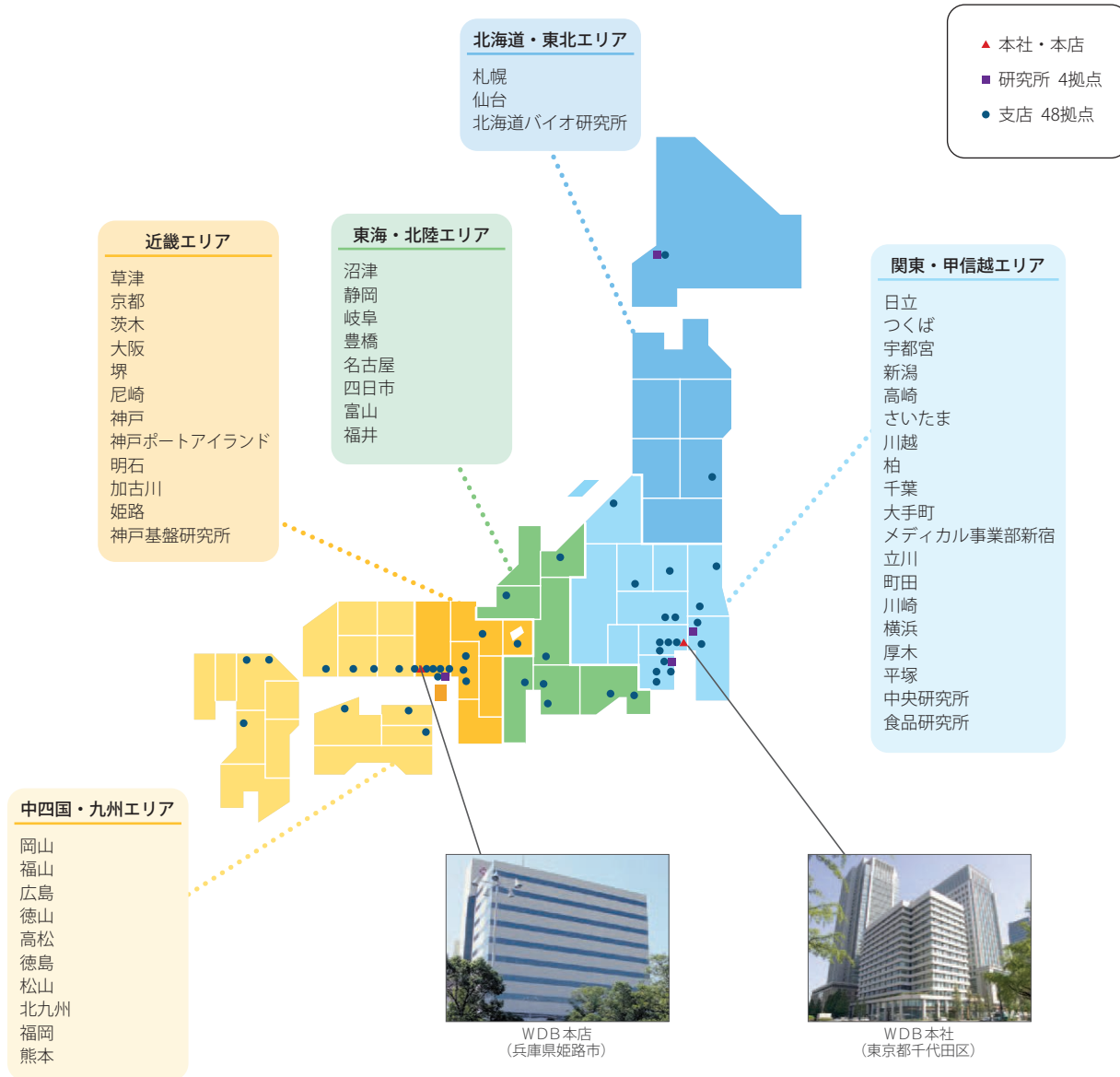
設立 2010年4月
資本金 1,000万円
代表者 取締役社長 ニノ方 規史
本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-3211-1511(代) FAX 03-3211-7711

株式会社WDB環境バイオ研究所

二枚貝類、魚類、甲殻類及び藻類の研究と生産販売

設立 2010年10月
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 中野 敏光
本社 〒779-2307 徳島県海部郡美波町山河内字外ノ牟井1-6
TEL 0884-77-1117(代) FAX 0884-77-1119

拠点所在地 (平成22年10月現在)



株主構成

●発行可能株式総数／200,600株 ●発行済株式総数／50,150株 ●株主数／1,364名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社中野商店	19,275	38.43
中野 敏 光	10,524	20.98
谷 岡 たまゑ	2,970	5.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,551	3.09
大 塚 美 樹	1,200	2.39
WDBグループ従業員持株会	959	1.91
エーエージーシーエス エヌブイ トリーティ アカウント タクサブル	911	1.81
日本生命保険相互会社	724	1.44
三 木 廣 章	480	0.95
犬 飼 直 樹	441	0.87
計	39,035	77.83

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
配当金受領株主確定日 毎年3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社（東京都港区芝3-33-1）
同事務取扱場所 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部（大阪市中央区北浜2-2-21）
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
（電話照会先） 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-78-2031
 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店
 ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店でっております。

公告方法 電子公告
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが
 できない場合は、日本経済新聞に掲載する。

上場証券取引市場 東京証券取引所市場第二部
証券コード 2475

WDB株式会社

問合せ先／WDB株式会社 経営企画室
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町100
姫路パラシオ2ビル
TEL 079-287-1855(直通)

- 本社／〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5221-8111(代)
- 本店／〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町100 姫路パラシオ2ビル
TEL 079-287-0111(代)



WDB株式会社は、付加価値の高いサービスを提供するため、ISO9001、ISO27001およびプライバシーマークの認証を取得しています。

<http://www.wdb.co.jp>